

「みよし会」11月例会

# 別府に一泊研修

夢追塾同窓会3期会の「みよし会」は11月26日(土)～27日(日)の2日間、別府市に一泊研修に出かけました。皆さん馴染みの有名な観光地ですが、竹細工伝統産業会館、湯けむり展望台、朝見神社など普段なかなか訪れない場所を巡り、また海浜砂湯や地獄蒸しなど貴重な体験をしたほか、帰りには杵築市まで足を延ばし、城下町の歴史に触れる旅行となりました。

＜参加者＞（敬称略、順不同）

赤木博、高城泰男、畑美根子、定平育子、今井由子、永吉和幸

初日は午前9時にJR小倉駅新幹線口駐車場に集合、永吉さん運転のレンタカー（8人乗りミニバン）に乗車して出発。全通した東九州自動車道を南下して2時間後には湯けむり立ち上がる別府市に到着。

最初の訪問地は、誰もが知っているのにあまり行ったことがない「別府タワー」。来年に完成から還暦を迎えるというタワーの展望台からの別府湾と別府市内の眺望は「素晴らしい」の一言でした。竹細工伝統産業館では大分県の伝統産業「竹細工」による芸術作品ともいえる作品の数々を鑑賞。「とり天」を最初に売り出したという「東洋軒」で昼食のあと「香りの博物館」「湯けむり展望台」「白池地獄」「鉄輪温泉の路地裏あるき」などを見て回ったあと、お泊まりは安川電機の保養所「照波園」。赤木さんの紹介のお陰で海に面した大浴場を満喫した後はふぐ、関サバなどの夕食に舌鼓を打ちました。



2日目は「照波園」のすぐ近くの「海浜砂湯」で波の音を聞きながら「砂湯」を体験。参道の石畳にひょうたんと盃の形をした石がある「朝見神社」を参拝。折よく結婚式の花嫁さんを見ることができました。帰りは杵築市の城下町にある「一松邸」から杵築城だけでなく遠く四国の佐田岬を望むという貴重な体験もできました。

